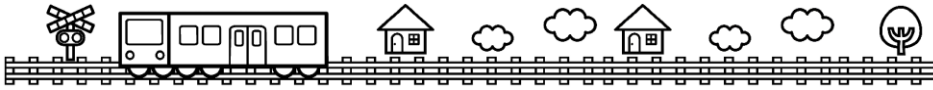


11月

尾久二だより

令和2年10月29日
荒川区立尾久第二幼稚園
園長 高橋 美香



人と別れる時に 手を振るのはなぜ？

園長 高橋 美香

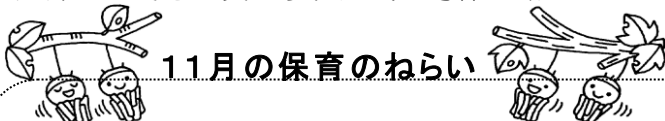
日本の歴史を研究している奈良大学の上野誠教授によると、日本最古の和歌集「万葉集」に愛おしい相手と別れる時は必ず袖を振って分かれるという表現が出てくるそうです。古来、日本では服の袖に魂が宿ると信じられてきました。相手を想って手を振ることで、相手の魂も自分のところに来てくれるのではないかという願いを込め、相手に対して「肉体は分かれてしまっても魂は一緒ですよ」というメッセージを送る事が出来るという風に考えられていたのですね。（そう、チコちゃんは5歳ですが、何でも知っているのです。）

そんな温かい想いがこもった皆様の「行ってらっしゃい」に支えられて、子ども達は少しずつ成長しています。今年度初めての大きな行事となったミニ運動会も無事に終わり、子ども達の顔つきも少しお兄さん・お姉さんになったようです。おうちの方々に応援していただけたのが、とても嬉しかったようです。その後も、お話し会、サツマイモの収穫、足立生物園への全園遠足など行事が続きました。



そんなある日、私は、いるか組さんが「こおりおに」で遊ぶ様子を近くで座って見ていました。その日は特に寒かったので、こおりにされた子は2人がかりで「チン」と電子レンジで、溶かしてあげるというルールでした。遊びが終わって動かない私を可哀そうに思ったのでしょうか。ある子が走り寄ってきて、「チン」と言いながら、私の肩に優しくタッチしてくれました。ちょっとほっこりしました。今月も、様々な活動や行事を通して、子どもたちの成長を大切に見守っていきたいと思います。

気温が下がって乾燥する季節になりました。この時期には、インフルエンザや風邪などに感染する子どもが増えてきます。感染症を予防するためにも、手洗いやうがいをしていねいに行い、規則正しい生活を心がけて欲しいと思います。また、しっかり睡眠をとることで免疫力もアップします。そして戸外でも寒さに負けず、元気に身体を動かしていきましょうね！



11月の保育のねらい



うさぎ組

- 自分の好きな遊びをしたり、面白そうなことをしている友達と関わったりしながら、遊ぶ楽しさを感じる。
- いろいろな素材に触れて、自分なりに表現することを楽しむ。



りす組

- 友達と関わって遊ぶ中で、自分の思いやイメージを表すことを楽しむ。
- 秋から冬への自然の変化に気づき、自然物を遊びの中に取り入れる楽しさを味わう。



いるか組

- 共通の目的に向かって、工夫や協力、分担などをしながら取り組み、達成感を味わう。
- 学級の友達とさまざまな表現を楽しむ。